



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月10日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	48,027	6.3	2,274	657.0	2,275	502.1	1,083	—
25年2月期第2四半期	45,197	13.1	300	—	377	—	91	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 1,327百万円 (697.2%) 25年2月期第2四半期 166百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	19.41	—
25年2月期第2四半期	1.65	—

四半期連結経営成績に関する注記

当社は、平成25年2月期より決算期を2月15日から2月末日に変更しております。これにともない、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、平成25年2月期第2四半期（2月16日から8月15日）と比較し記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	51,623	26,812	51.9	480.22
25年2月期	58,340	26,044	44.6	466.45

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 26,812百万円 25年2月期 26,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成25年2月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△1.3	3,900	76.3	3,900	63.6	2,000	61.0	35.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更をおこなっており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年2月期2Q	59,948,294株	25年2月期	59,948,294株
26年2月期2Q	4,114,862株	25年2月期	4,113,272株
26年2月期2Q	55,834,339株	25年2月期2Q	55,837,936株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	11
(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況	11
(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	45,197	48,027	2,830	6.3
営業利益又は営業損失(△)	300	2,274	1,974	657.0
経常利益又は経常損失(△)	377	2,275	1,897	502.1
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	91	1,083	991	—

当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策に対する期待感から景況感は回復の兆しが見られましたが、海外における景気の下振れ懸念は継続しており、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、顧客企業における設備や広告宣伝への投資に一部明るい兆しが見られ、回復への期待感が高まるところとなりました。

このような状況のなか、当社グループは、市場の変化への対応力を強化するなど、経営目標である「選ばれるノムラ」の実現に向け事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は480億27百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

また、利益面におきましては、固定資産減損損失等の特別損失を計上いたしました。売上高の増加に加え、採算を重視した受注の徹底や原価低減への取り組みなどが寄与し、営業利益22億74百万円(前年同期比657.0%増)、経常利益22億75百万円(前年同期比502.1%増)、四半期純利益10億83百万円(前年同期は四半期純利益91百万円)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

前年同期に比べ大型案件が少なかった博物館・美術館市場の売上が減少いたしました。首都圏において大型商業施設の新装や改装が相次いだことにより空間演出等を手掛けた複合商業施設市場が堅調に推移したほか、インポートブランドやアパレルの店舗内装を手がけた専門店市場や大型アミューズメント施設を手がけた余暇施設市場の売上が伸びました。

また、景況感の回復に加え、来年4月に実施される消費税率の引き上げを見据えた百貨店や各種ショールームの新装・改装を多数手がけ、百貨店・量販店市場、広報・販売促進市場につきましても堅調に推移いたしました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は466億82百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は20億62百万円(前年同期比712.1%増)となりました。

(単位:百万円)

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	インポートブランドやアパレル、金融機関の店舗内装制作等	19,485	20,758	1,272	6.5
百貨店・量販店市場	近畿圏や首都圏の百貨店におけるリニューアル等	2,322	3,062	739	31.8
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	大型商業施設の新装や改装、空港内の商業施設における空間演出等	4,002	4,479	476	11.9
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	大手電機メーカーや住宅関連企業のショールーム、各種展示会等	6,703	7,201	497	7.4
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	博物館の展示制作、指定管理者制度 ^(注) にもとづく施設の管理・運営等	4,502	3,107	△1,394	△31.0
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	大型アミューズメント施設や都内・地方都市におけるホテルのリニューアル、温浴施設の新装等	2,910	4,319	1,409	48.4
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	415	348	△67	△16.2
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	「奇跡の一本松」の再生や大使館のリニューアル、オフィスの環境演出等	3,985	3,406	△579	△14.5
ディスプレイ事業		44,328	46,682	2,354	5.3

(注) 指定管理者制度: 地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②不動産事業

所有する不動産における賃料収入などにより、売上高は2億40百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は69百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

③飲食・物販事業

「江戸東京博物館ミュージアムショップ」(東京都墨田区)などの物販店や、「フレームカフェ」(東京都港区)などの飲食店舗の運営を手掛け、売上高は11億4百万円(前年同期比72.6%増)、営業利益は1億90百万円(前年同期比633.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は516億23百万円(前連結会計年度末比67億16百万円減)、負債は248億11百万円(前連結会計年度末比74億84百万円減)、純資産は268億12百万円(前連結会計年度末比7億68百万円増)となりました。

総資産は仕入債務の支払いによる現金及び預金が減少するとともに、大型物件の完成にともなうたな卸資産、売上債権の回収による受取手形及び売掛金が減少しております。

負債は期末月の仕入れの減少により支払手形及び買掛金が大幅に減少しております。

純資産は配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加するとともに、その他の包括利益累計額においては、土地再評価差額金、その他有価証券評価差額金等が増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.6%から51.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて27億77百万円減少し、期末残高は82億62百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因につきましては、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益の計上とたな卸資産の減少により収入が増加したものの、仕入債務の減少により20億90百万円の支出となりました。前年同期との比較では、前年同期は大型物件の債権回収などにより収入が増加いたしましたが、仕入債務の減少により支出に転じております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等があったものの、設備投資による固定資産の取得などにより84百万円の支出となりました。前年同期との比較では、前年同期は信託受益権の償還などにより収入が増加いたしましたが、固定資産の取得などにより支出に転じております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより6億31百万円の支出となりました。短期借入の実行をおこなった前年同期との比較では、支出に転じております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年4月11日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	3,500	3,600	2,000	35.82
今回修正予想(B)	100,000	3,900	3,900	2,000	35.82
増減額(B-A)	—	400	300	—	—
増減率(%)	—	11.4	8.3	—	—
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	101,316	2,212	2,383	1,242	22.25

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,040	8,362
受取手形及び売掛金	14,354	12,995
有価証券	41	—
たな卸資産	8,098	6,480
繰延税金資産	1,087	1,166
その他	648	873
貸倒引当金	△44	△39
流動資産合計	35,224	29,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,548	12,160
土地	10,056	9,761
その他	1,818	1,763
減価償却累計額	△6,707	△6,682
有形固定資産合計	17,716	17,002
無形固定資産	614	702
投資その他の資産		
投資有価証券	2,597	2,812
その他	2,510	1,640
貸倒引当金	△322	△374
投資その他の資産合計	4,784	4,078
固定資産合計	23,115	21,783
資産合計	58,340	51,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,482	12,080
未払法人税等	993	1,012
前受金	3,591	2,972
賞与引当金	1,320	1,089
工事損失引当金	488	27
環境対策引当金	100	—
その他の引当金	105	109
その他	2,384	1,636
流動負債合計	26,468	18,928
固定負債		
退職給付引当金	3,931	3,971
その他の引当金	313	72
その他	1,582	1,838
固定負債合計	5,827	5,882
負債合計	32,296	24,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	13,236	13,565
自己株式	△914	△915
株主資本合計	25,680	26,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	225
土地再評価差額金	286	482
為替換算調整勘定	22	95
その他の包括利益累計額合計	363	804
純資産合計	26,044	26,812
負債純資産合計	58,340	51,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	45,197	48,027
売上原価	39,667	40,351
売上総利益	5,529	7,676
販売費及び一般管理費	5,228	5,401
営業利益	300	2,274
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	11	16
仕入割引	42	42
その他	32	35
営業外収益合計	90	99
営業外費用		
支払利息	6	0
為替差損	2	4
複合金融商品評価損	0	—
投資不動産管理費用	3	1
関係会社貸倒引当金繰入額	—	90
その他	0	2
営業外費用合計	12	98
経常利益	377	2,275
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	149
特別利益合計	0	149
特別損失		
固定資産除売却損	3	20
減損損失	—	490
投資有価証券評価損	82	17
ゴルフ会員権評価損	1	—
店舗閉鎖損失	—	0
特別損失合計	86	529
税金等調整前四半期純利益	291	1,895
法人税等	199	811
四半期純利益	91	1,083

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
四半期純利益	91	1,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	170
為替換算調整勘定	△1	73
その他の包括利益合計	74	244
四半期包括利益	166	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	1,327

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291	1,895
減価償却費	400	433
減損損失	—	490
賞与引当金の増減額(△は減少)	△198	△231
退職給付引当金の増減額(△は減少)	139	98
その他の引当金の増減額(△は減少)	△38	△799
受取利息及び受取配当金	△15	△21
支払利息	6	0
売上債権の増減額(△は増加)	8,747	1,445
たな卸資産の増減額(△は増加)	954	1,620
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,570	△5,320
前受金の増減額(△は減少)	△65	△622
その他	101	△115
小計	6,752	△1,124
利息及び配当金の受取額	15	22
利息の支払額	△6	△0
法人税等の支払額	△485	△987
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,275	△2,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49	△270
有形固定資産の売却による収入	0	123
投資有価証券の取得による支出	△116	△111
投資有価証券の売却による収入	0	277
信託受益権の償還による収入	299	—
その他	△8	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	125	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	569	—
配当金の支払額	△435	△555
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△60	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	72	△631
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,476	△2,777
現金及び現金同等物の期首残高	411	11,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,887	8,262

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,328	228	639	45,197	—	45,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	3	11	37	△37	—
計	44,349	232	651	45,234	△37	45,197
セグメント利益	254	65	26	345	△44	300

(注) 1. セグメント利益の調整額△44百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,682	240	1,104	48,027	—	48,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	7	14	24	△24	—
計	46,685	247	1,118	48,052	△24	48,027
セグメント利益	2,062	69	190	2,322	△48	2,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△48百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地について売却を予定していたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(38百万円)として特別損失に計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地・建物について収益性の低下による減損の兆候が認められたため、その認識・測定をおこなった結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(452百万円)として特別損失に計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	18,864	20,488
百貨店・量販店市場	2,523	2,952
複合商業施設市場	3,290	3,587
広報・販売促進市場	7,553	6,972
博物館・美術館市場	3,552	3,076
余暇施設市場	2,850	4,205
博覧会・イベント市場	358	313
その他市場	3,942	3,615
ディスプレイ事業 小計	42,934	45,211
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	42,934	45,211

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	19,477	7,670	19,993	7,510
百貨店・量販店市場	3,308	1,725	3,392	1,308
複合商業施設市場	3,716	3,150	2,353	2,269
広報・販売促進市場	8,998	5,834	9,086	6,869
博物館・美術館市場	3,919	3,072	6,312	5,751
余暇施設市場	4,391	3,472	2,862	3,210
博覧会・イベント市場	496	455	243	245
その他市場	4,536	5,381	3,216	3,060
ディスプレイ事業 小計	48,845	30,762	47,460	30,226
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	48,845	30,762	47,460	30,226

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	19,485	20,758
百貨店・量販店市場	2,322	3,062
複合商業施設市場	4,002	4,479
広報・販売促進市場	6,703	7,201
博物館・美術館市場	4,502	3,107
余暇施設市場	2,910	4,319
博覧会・イベント市場	415	348
その他市場	3,985	3,406
ディスプレイ事業 小計	44,328	46,682
(不動産事業)	228	240
(飲食・物販事業)	639	1,104
合計	45,197	48,027

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	14,181	17,921
展示制作	10,025	8,538
環境演出制作	2,746	1,513
販促品制作	764	373
企画・設計・監理	4,572	4,432
その他	10,644	12,432
ディスプレイ事業 小計	42,934	45,211
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	42,934	45,211

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	17,520	11,745	15,784	10,641
展示制作	10,909	7,426	11,408	8,478
環境演出制作	1,652	1,223	1,655	1,112
販促品制作	1,114	515	391	88
企画・設計・監理	6,052	5,850	4,672	4,650
その他	11,596	4,000	13,549	5,253
ディスプレイ事業 小計	48,845	30,762	47,460	30,226
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	48,845	30,762	47,460	30,226

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	14,069	19,376
展示制作	9,569	8,265
環境演出制作	3,114	1,558
販促品制作	658	318
企画・設計・監理	4,727	4,764
その他	12,188	12,399
ディスプレイ事業 小計	44,328	46,682
(不動産事業)	228	240
(飲食・物販事業)	639	1,104
合計	45,197	48,027

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。